

【公報種別】特許法第17条の2の規定による補正の掲載

【部門区分】第1部門第2区分

【発行日】平成30年11月15日(2018.11.15)

【公開番号】特開2016-220903(P2016-220903A)

【公開日】平成28年12月28日(2016.12.28)

【年通号数】公開・登録公報2016-070

【出願番号】特願2015-109592(P2015-109592)

【国際特許分類】

A 6 3 F 7/02 (2006.01)

【F I】

A 6 3 F 7/02 3 2 0

【手続補正書】

【提出日】平成30年9月28日(2018.9.28)

【手続補正1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項1】

開始条件の成立に基づいて、識別情報の変動表示を実行する遊技機であって、前記開始条件が成立していない変動表示に関する情報を保留記憶情報として記憶する保留記憶手段と、

前記保留記憶手段に記憶されている前記保留記憶情報に対応する保留表示を行なう保留表示手段と、

前記保留記憶情報に基づく変動表示が特定の変動表示となるか否かを、当該保留記憶情報に基づく変動表示の前記開始条件が成立する前に判定する判定手段と、

前記判定手段による判定に基づいて、前記特定の変動表示となる前記保留記憶情報に対応する前記保留表示を特別表示態様で表示可能な表示態様制御手段とを備え、

前記表示態様制御手段は、

前記判定手段による判定に基づいて、前記特定の変動表示となる前記保留記憶情報に対応する第1保留表示を特殊表示態様で表示し、当該保留記憶情報より後に前記保留記憶手段に記憶された前記保留記憶情報に対応する第2保留表示を、当該特殊表示態様で表示された第1保留表示に作用させる演出をした後に、当該特殊表示態様で表示された第1保留表示を特別表示態様で表示させる制御と、

前記判定手段による判定に基づいて、前記第2保留表示を特別表示態様で表示させる制御と、が可能である、遊技機。

【手続補正2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0 0 0 7

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0 0 0 7】

(A)開始条件の成立に基づいて、識別情報の変動表示を実行する遊技機であって、前記開始条件が成立していない変動表示に関する情報を保留記憶情報として記憶する保留記憶手段と、

前記保留記憶手段に記憶されている前記保留記憶情報に対応する保留表示を行なう保留表示手段と、

前記保留記憶情報に基づく変動表示が特定の変動表示となるか否かを、当該保留記憶情報に基づく変動表示の前記開始条件が成立する前に判定する判定手段と、

前記判定手段による判定に基づいて、前記特定の変動表示となる前記保留記憶情報に対応する前記保留表示を特別表示態様で表示可能な表示態様制御手段とを備え、

前記表示態様制御手段は、

前記判定手段による判定に基づいて、前記特定の変動表示となる前記保留記憶情報に対応する第1保留表示を特殊表示態様で表示し、当該保留記憶情報より後に前記保留記憶手段に記憶された前記保留記憶情報に対応する第2保留表示を、当該特殊表示態様で表示された第1保留表示に作用させる演出をした後に、当該特殊表示態様で表示された第1保留表示を特別表示態様で表示させる制御と、

前記判定手段による判定に基づいて、前記第2保留表示を特別表示態様で表示させる制御と、が可能である。

(1) 開始条件(第1特別図柄および第2特別図柄のいずれの変動表示もされておらず、かつ大当たり遊技状態でもないこと)の成立に基づいて、各々を識別可能な識別情報(たとえば、演出図柄)の変動表示を実行する遊技機(パチンコ遊技機1)であって、

前記開始条件が成立していない変動表示について所定の上限数を限度に保留記憶情報として記憶する保留記憶手段(遊技制御用マイクロコンピュータ560、RAM55、第1保留記憶バッファ、第2保留記憶バッファ)と、

前記保留記憶手段に記憶されている前記保留記憶情報に対応する保留表示を行なう保留表示手段(演出表示装置9の画面内の所定領域9B)と、

前記保留記憶手段に記憶された前記保留記憶情報に基づく変動表示が特定の変動表示(たとえば大当たり表示結果が得られるような特定の変動表示)となるか否かを、当該保留記憶情報に基づく変動表示の前記開始条件が成立する前に判定する判定手段(演出制御用マイクロコンピュータ100、図17のS505)と、

前記判定手段による判定に基づいて、前記特定の変動表示となる前記保留記憶情報に対応する前記保留表示を特別表示態様で表示可能な表示態様制御手段(演出制御用マイクロコンピュータ100、図19のS528)とを備え、

前記表示態様制御手段は、

前記判定手段による判定に基づいて、前記特定の変動表示となる前記保留記憶情報に対応する第1保留表示を特殊表示態様で表示し、当該保留記憶情報より後に前記保留記憶手段に記憶された前記保留記憶情報に対応する第2保留表示を、当該特殊表示態様で表示された第1保留表示に作用させる演出をした後に、当該特殊表示態様で表示された第1保留表示を特別表示態様(第1特別表示態様)で表示させる制御と、

前記判定手段による判定に基づいて、前記第2保留表示を特別表示態様(第2特別表示態様)で表示させる制御とが可能である(演出制御用マイクロコンピュータ100、図19のS522～S528、S532、S535、S538、S539、S545、S546)。